

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	販売量の動き	・財布のひもが緩んでいる様子である。
	◎	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・暑さが来て季節商材が動き出したが、エアコンの省エネ基準の改定の影響も大きい。また、エアコン、冷蔵庫の省エネ家電の買換え補助金も重なって、エアコンが非常に伸びた。
	○	商店街（職員）	販売量の動き	・販売量、来客数共に前年を上回っている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・20年に1度の遷宮関連行事が始まってプラスアルファの県外からの客の動きが活発化している。地元関連は全ての物価が上がる一方で、節約モードに陥っている。
	○	スーパー（店員）	来客数の動き	・天候にかかわらず土日、月曜の来客数がかなり多い。暑くなったため、早朝7時からの来店も多い。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・販売数が前年比100%超で推移している。物価高による販売価格が増加し、客単価も増えている。ただし、主要カテゴリーのおにぎりは他のカテゴリーより値上げ幅が大きく、販売数が非常に減少している。菓子パンやサンドイッチに客が流れている印象があり、全体の売上は前年以上を維持しているが、今後パン類の値上げがくると定価販売のコンビニは厳しい。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・来客数が前年比110%超で推移しており、会社関係の作業服の購入や外国人の作業服や備品の購入が目立った。ただし、中東情勢の影響により建設や内装、塗装業の客が減少している。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・エアコンの売行きが良い。高単価な商品も普通に選ばれる。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・エアコンが売れている。5月になって夏日が増えエアコンの話が多くなっている。エアコンの省エネ基準の改定で、壊れていないが15年以上使っているエアコンの買換えが多い。来年の3月までは前年超えが続くとみる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・5月は連休もあるため、例年来客数、販売台数共に大きく減少する月であるが、来客は4月より多くなった。変わらず中古車が多めであるが、受注も前月を上回った。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前月に引き続き、宿泊部門は観光利用の来客数が前年を上回り好調である。一方、レストラン・宴会部門は前年実績を下回っている。
	○	美容室（経営者）	お客様の様子	・3か月前は寒い時期で客足が悪かったが、今は急に暑くなり髪を切ってさっぱりしたいと考える人が多く、来客数が増えている。
	○	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来客数及び相談件数により判断した。相続が発生した、住人が施設に入ることになった等の理由で不動産の売却相談が同時期と比べて多かった。成約に至らなければ景気が上向いたといえる状況ではないものの、売り物件がなければ営業活動ができないため、現時点でも景気は上向きの印象を受ける。同業者に聞いても不動産の売却相談の数は増えている様子である。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・予約はどの店もある程度入るが、予約なしで当日来店する客は、引き続き悪い状況が続いている。
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	単価の動き	・来客数は増えているが、単価の低いものしか動かない。	
□	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ゴールデンウィークに来店した客は、下見に来ているような人が多く、ほとんど売上に結び付いていない。先週の土日によく購買力のある客が来店し、売場がにぎわっていた。閉店間際になるとインバウンドが来て、以前は購入する人も多かったが、現在は時間潰しのような様子で、食後の散歩のように歩いている人が多く、売上には結び付かない。	

□	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・中東情勢の不安定化が継続しているなか、株高による資産効果などもあり、海外特選ブランドの売上が好調で、単価も高いため、店全体の売上を伸ばす要因になっている。一方で衣料品は夏の暑さが来ているにもかかわらず、不調である。食料品を抑制するのは難しく、衣料品の買い控えが一定程度あるものと想定している。インバウンドも中国関連が一巡し、前年売上を確保しており、売上を支えている。
□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・中東情勢の影響が資材関係に出ており経費の上昇もみられるが、株高の影響により富裕層の売上が安定している。
□	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・物産展の値上げはその分の売上も増加となるが、ラグジュアリー商材ブランドの値上げは上がり過ぎている状態である。
□	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークはファミリー層の来店が多く、購入には慎重な様子がみられた。自店イベントや施設の販売促進施策時には来客数が増加し、購入率も上がった。施策による集客効果はみられるが、通常時は大きな変化はなく全体的に横ばいで推移している。
□	スーパー（店員）	来客数の動き	・ちょうど3か月前に競合がオープンしたが来客数はほぼ変わらず推移している。
□	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・引き続き安価でお買い得なものの動きは良いが、買上点数、金額はなかなか増えていかない。
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・キャンペーン、もろもろの販売促進施策は功を奏し、決して数字上は悪い結果ではなかった。しかし、客の様子からはお買い得な商品だから購入するが、コストパフォーマンスをシビアに判断する様子が強くうかがわれた。
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・来客数は好調である。暑さで飲料が好調に動いており、また、駄菓子やくじが相変わらず好調である。アイスの動きも早い。
□	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・前月より回復基調にあるが、年初と比較すると来客数の伸長は鈍化している。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・5月は販売再開した車種が多くあり、販売台数は久しぶりに増加している。
□	その他専門店 [雑貨]（店長）	来客数の動き	・ターミナル駅の百貨店閉店の影響により、地区全体の集客が落ちている印象を受ける。
□	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・引き続き週末営業、慶事需要は堅調に推移するが、平日夜の法人利用が厳しい。
□	その他飲食 [ワイン輸入]（経営企画担当）	お客様の様子	・イベントでの消費者の意欲は高く、集客は前年を5%程度上回っている。売上も5%程度上回っており、消費は底堅い。
□	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前は、前年比で宿泊者数や売上等が若干プラスであった。今月もそのような傾向であるため、景気は変わらないと判断した。
□	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・レストランは喫茶などが比較的順調である。ゴールデンウィークの宿泊は比較的良かった。
□	都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・レストラン利用客の様子には、余り変化がみられない。高単価のレストランの需要が若干落ちた印象を受けるが、それほど目立った状況ではない。単価、数量に関してはおおむね前年プラス3%程度で推移している。
□	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・3月の春休みとゴールデンウィークは余り動きがなかった。
□	旅行代理店（経営者）	それ以外	・飲食店でもにぎわっている店とにぎわっていない店との差が大きくなってきている。にぎわっている店もここ1年で2～3度価格の改定をしており、平日と土日の昼間帯と夜間帯での来客数の変化が大きくなってきている。多数の飲食店が同じフロアにあるが、にぎわいの差が大きくなってきている。駅前の競合するビル内の飲食店が閉店していることで来客数が維持されている。
□	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・物価高騰と中東情勢の緊張感の継続により、海外渡航者に関していえば業務渡航に変化はないが、海外旅行者は微減している。引き続き静観の状態である。

□	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・現時点では中東情勢や日中関係の影響は余りないが、今後が不安である。
□	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークや土・日曜日のイベント開催に注力したが、来客数は期待値以上に伸びなかった。ここ数年は春先の集客が落ち込んでいるが、明確な原因がつかめずにいる。中東情勢の影響もどの程度あるのか、よく分からない。
□	パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークがあり、少し客が戻ると期待していたが、実際は余り変わらなかった。
□	パチンコ店(従業員)	来客数の動き	・良くなる要素が特にない。
□	美顔美容室(経営者)	販売量の動き	・現在実施しているキャンペーンが開始から2か月を迎えるが、前月から余り変化がない。
□	その他サービス [介護サービス](職員)	お客様の様子	・春先頃からこん包資材の値上げや納期遅延、発注数制限等に見舞われている。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は大きな変化はみられない。
□	その他住宅[不動産賃貸及び売買](営業)	販売量の動き	・単価が高騰しすぎて粗利が上がらない。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・週末の来客数は変わらず飽和状態で推移しているが、平日の来客数が少し減ってきている。
▲	一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・物価の上昇が引き金になり、どうしても必需品でない花は買い控える傾向にある。大量に購入する客が少なくなった。
▲	一般小売店[贈答品](経営者)	お客様の様子	・4月からの大幅な商品等の値上げにより、客の財布のひもが固くなっている。消費者は賢い買物の仕方をしており、特売日には売上は上がるが、特売日でない日は客が来ない。平均すると売上はやや下がっている。
▲	百貨店(経理担当)	それ以外	・中間所得者の生活防衛的な買い控えに加え、これまで比較的堅調だった富裕層による高額商品の売行きが鈍化する等、全所得者層で消費マインドは低下している。
▲	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・富裕層の来客が少し落ちている。
▲	スーパー(店長)	販売量の動き	・ゴールデンウィークや母の日等のごちそうは年々売上が落ちている。その後の節約志向での買い控えに合わせ価格を打ち出したが、思ったほどの成果は出ていない。
▲	スーパー(店長)	販売量の動き	・買上点数が前年と比べ減っている。
▲	スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数は前年超えているものの、購入点数が上がらないため、売上増加につながらない状況である。
▲	スーパー(店員)	単価の動き	・5月の中旬以降、昼間の気温が30度を超える日が続き午後の来客が減少ではなくピタリと止まった。やはり暑いと外出しない傾向が顕著に見えた。
▲	コンビニ(企画担当)	販売量の動き	・売上が前年より減少している店舗が、前月より多くなっており、来客数については更に減少傾向にある。
▲	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・値上がりしている商品の販売数が明らかに下落している。例えばおにぎりは販売数が落ち込んでおり、菓子パン等の値上がりを比較的抑えられている商品の販売数が伸長している。
▲	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・価格に敏感な客の来店が減っており、今まで来客数減少をカバーしていた客単価も前年割れに転じている。
▲	コンビニ(店長)	販売量の動き	・3か月連続で売上、来客数共に前年比2%程度の減少で推移している。理由はいろいろあるが、景気が悪くなっている。
▲	コンビニ(店長)	販売量の動き	・暑い日が多かったため、飲料の売上は伸びたが、アルコール類の売上が減少し、売上全体としては前年を下回った。

▲	コンビニ（本部 管理担当）	来客数の動き	・小売業の指標となるコンビニ業界は、3か月前の時期と比べて景気の停滞感が強まっている。主な理由として、まず原材料費や物流コストの更なる高騰に伴う、店頭商品の相次ぐ値上げが挙げられる。これにより消費者の生活防衛意識が一段と高まり、客単価は維持できても来店頻度と来客数が減少する傾向が顕著になっている。
▲	乗用車販売店 （経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。点検などをしなくなった客が多いことと、ディーラーへ流れていることが大きい。新車、中古車を買う人と、整備をしない人とで2極化している。
▲	乗用車販売店 （経営者）	来客数の動き	・やはり年度末と比べると客の動きが悪い。中東情勢の影響で、業種によっては購買意欲が下がっている。
▲	乗用車販売店 （従業員）	それ以外	・中東情勢の影響により、自動車整備に必要なエンジンオイルなどが入荷できなくなってきている。そのため、油脂類の交換を希望する客に対して、断ったり延期をお願いしており、非常に心苦しい状況が続き、売上も芳しくない。最近ではタイヤも入荷未定となることがあり、先行きが不安である。
▲	乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・物価高騰や中東情勢によるナフサ不足の影響により、客からもそのような話題が挙がり、商品があるうちに早めに購入し、ストックしておこうとする動きがみられる。しかし、客もこれまでの物価の上がり具合から諦めに似た言葉も現れ、これまで買っていたものから商品ランクを落とさざるを得ないとの動きも見られる。
▲	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・今月は販売量が少なかった。また、値段的に厳しい客が多く、今一つだった。ただし、問合せ数は余り悪くはなく、判断が難しい。今は周辺の景気が良いようだが、自社の動きとして余り良いイメージではなかった。ただし全く悪いわけではない。
▲	その他専門店 〔貴金属〕（経営者）	来客数の動き	・来客数や購買単価が明らかに減少している。消費意欲の減退が懸念される。
▲	その他専門店 〔書籍〕（社員）	販売量の動き	・新年度向けの購入量が一定見込まれる時期だが、例年と比べて抑えられている。
▲	その他小売 〔ショッピングセンター〕（経 理担当）	それ以外	・新設鋼橋発注量や民間建設投資、鉄骨需要は引き続き低迷し、伸び悩んでいる。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークで金を使うことが多かったのか、外食する客が少なくなっている。
▲	一般レストラン （従業員）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク明けから、売上が全く伸びない。
▲	その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	単価の動き	・物価高とナフサ関連の物資不足などの不確定要素と消費者の不安感が増している。
▲	都市型ホテル （従業員）	来客数の動き	・客からは、石油由来の資材不足で物件の完成が遅れているという話を聞く。
▲	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・長期化する中東情勢の不安定化の影響が出てきている。
▲	旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・物価高のため、消費が冷え込んでいる。旅行計画も延期するような流れがある。
▲	旅行代理店（経 営者）	販売量の動き	・中東情勢の影響により販売量が少し悪化している。

▲	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・大型連休が終わり、早くも夏日となる日も出てきて夏商戦がスタートしていく予定だったが、人出が悪い。このところの中東情勢によるエネルギー問題で、生活に係る費用の値上げに関するニュースの影響を受け、今後の生活に対する懸念や海外航空券燃油サーチャージ値上がりが海外旅行控えにつながっている。7月1日から新規パスポートの値下げだがタイミングが悪い。むしろ既にパスポートを持っている人からは、国際観光旅客税の3倍の値上がりが厳しいという声が上がっている。さらに、国内リゾート旅にシフトする話や来年以降への見送りの声を聞く。
▲	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数は横ばい、解約数は1割以上増えており、悪化局面とみられる。
▲	テーマパーク（職員）	単価の動き	・ゴールデンウィークにチューリップが満開となり、雨の日はあったものの、5月は雨が少なく入園者数は増加した。一方で、客単価は減少し、動きはやや悪くなっている。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・段々と暑くなり忙しくなる時期だが、余り客が来ない。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・中東情勢の影響を受け、生活必需品以外の消費を抑える人が増えている。
▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の話は物価が高いという話題で持ち切りであり、景気はよい状態ではない。
▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客から景気が良くなるような話は聞かない。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・在庫があるなかでやり繰りしてはいるが、中東情勢の変化による原材料の不足が進み、どの材料も大幅な値上げの通知がメーカーから届いている。施主は計画より工事代金が膨らみちゅうちょしている。施工に悪影響が出ており、この先が心配である。
▲	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	販売量の動き	・元請業者を見ている仕事がない業者が多くなっている。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・住宅メーカーの成約数が鈍化している。中東情勢の影響もあり、資材不足で着工ができない、あるいは価格が高騰していることが要因として考えられる。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・商談の件数が減っている。以前は契約に至らずとも見積依頼があったが、それすらなくなってきた。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価がかなり上がっている。また、7月以降に更に上がるということなので、皆節約志向であり、景気は良くない状況である。ナフサ不足で接着剤等が入ってこないため、工事ができない。建築関係は大変なことになっている。
×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	来客数の動き	・現在、地域の神事に関する行事で街は盛り上がっているが、商売としては全く客が来ない。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・デパートにはほとんど行かなくなった上に、路面の婦人服専門店がなくなったことで、何年か振りに自店に来店してまとめ買いする客が多くみられた。売上は前年より大幅に上がったが、一過性のものであり、依然として景気は良くない。
×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・突然、個人や皆の景気が悪くなったというより、世の中で起きていること全てに対しての先行き不安が大きな原因とみられる。
×	タクシー運転手	それ以外	・ゴールデンウィークを挟んだ前後で期待したような客足はなく、景気は悪い。最近、原油が入ってこないと盛んにいわれているが、何もかもがその影響を受けており、全てが高値になっている。客の動きに影響を受けて景気が低迷し、どんどん悪くなっている。
×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・住宅を設計事務所に依頼する施主がほとんどいなくなっている。
×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・中東情勢の影響から、商品の更なる値上げが進む。買い控えがまた一層進んだ印象を受ける。
×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・建築資材の高騰で予測不能になり、下請業者からの見積が出てこなくなった。
企業	◎	—	—

動向 関連 (東海)	○	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・自社で扱う取扱物量が増加しており、中東情勢の緊迫化やナフサ問題による工場の稼働が落ち込む前に出荷する荷主が多く、物の流れは現状動いている。
	○	金融業（企画担当）	取引先の様子	・取引先の発注金額において、人件費や材料費等のコストアップを見直し始めている。実感としてその恩恵が出てくると、当社の原価率ダウンの採算も改善されるとみる。
	□	食料品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・一部商品の値上げを行ったため、値上げ商品の販売量は減少したが、他の商品は販売量が伸び、全体としての売上はほぼ横ばいで推移している。
	□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・今週も株価の高値更新の一時的ニュースや賃上げ5%台が3年連続という中期的ニュースが流れ、景気は少なくとも後退してはいないようにみられる。一方で日本円がトルコリラより実力低下したとの記事もあり、国際的な競争力を高めなければ日本経済がそのうち破綻するという不安がよぎる。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・半導体関係や電池関係での客で設備増強が行われて、順調に稼働している。さらに、磁石関係で中国依存脱却のための設備導入の話が進んでいて、かなりの受注増加が見込める。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予想より販売量が増加している商品がある。今後の品不足や値上がりを意識して、先に引き取っておこうと考える動きがある。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米と東南アジアでのA I 関連の設備投資の勢いが衰えないままである。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・若干減少傾向ではあるが変化は少ない。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・株価は上がっていて将来的な景気浮揚は期待されるが、物価高などで購買にストップを掛ける状況もあるため、単純に判断することは難しい。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この3か月間は、受注量、生産量共に横ばいが続いている。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先から新しい仕事が下りてくるようになったため多少景気は良いが、前月と余り変わらない。
	□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・住宅の販売件数が伸びていない。サラリーマンが新築の戸建て住宅やマンションを購入するため、年収の10倍の借入れが必要な時代になっている。
	□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・準公共事業やその他客先からの見積りを前年の段階で出しているが、今年度は社内の調整や国際情勢等の影響、物価が非常に上がっていることから、前年度の予算よりも現在の物価が高く、なかなか折り合いが付きにくい。
	□	輸送業（経営者）	それ以外	・軽油だけでなく、荷崩れ防止用のストレッチフィルムなどのコストが大幅に増加しており収益を圧迫している。荷主もコスト増加の対応に苦心しており、値上げが通る状況ではない。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・原油価格の先行きへの不透明感や、物価上昇に備えて行われる駆け込み需要や買いだめによる一時的な荷動きの増加を、冷静に見極める必要がある。
	□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも晴れの日が多いこともあり、前月までと同様に外出や遠出をする人が増加傾向にある。今月の売上は前年を上回っている。
	□	不動産業（職員）	受注量や販売量の動き	・商業施設の売上に特に大きな動きはない。天候が安定したため、屋外施設は比較的好調に推移している。
	□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・特に新しい動きは見えず、落ち着いている。
	□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に低調である。新しい物が出てこない。競合先においても手が空いている状態であり、非常に困っている。
	▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・あらゆるモノの値段が上がり、消費動向は重苦しい。特に食品に関する需要の減退を強く実感する。

	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響により、ナフサ不足が全産業に影響している。原材料や資材等が高騰しており、受注量や販売量共に全体の4～8%減少していることから、景気はやや悪い。
	▲	化学工業（営業担当）	それ以外	・容器をこん包するPPバンド、こん包資材などナフサ由来の副資材について入手が困難である。また、大幅な価格上昇により収益が圧迫している。
	▲	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・元々例年と比べて物件の動きが鈍いといわれているなかで、更に中東情勢の影響を受け資材入手困難となり、値上げの情報が交錯している。実際の利益面はもちろん、消費マインドが落ちていることを取引先と話していても実感する。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・部品価格や仕入価格がかなり高騰しており、原価が上がっているにもかかわらず販売価格に転嫁できていない。競争の関係でなかなか高くできずに、市場競争での製品の単価の争いで受注が困難になっており、全体的に悪い傾向になっている。
	▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・中東情勢が長引き物価が高騰している。これから暑くなるため電気代が心配である。
	▲	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・全体的に仕事量が少し減っている。荷主の出荷量が減っている様子で、少なくとも自社の荷主は余り調子が良くない。その上、原油価格高騰の影響も出ている。
	▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・政治的な要因で、世界経済が混乱している印象を受ける。日本人の堅実な国民性が色濃い一部の企業が、転ばぬ先の杖のような経営のかじ取りをするため、何かを買いだめたり、過剰な節約を始め、消費に対して不安が広がり消極的な雰囲気まん延し始めている。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・円安及び石油製品の上昇によって、生活費の支出が増加しており、消費者の生活に影響が出ている。今後もその解決策がみえないため、皆が金を使うことをセーブしているようにみえる。
	▲	金融業（従業員）	それ以外	・日常生活や身の回りの様子から、ナフサ不足や供給の不安定な状況により、物価の上昇が止まらない状況になっている。買いだめなどから、更に供給が不安定となり、国民の生活が不安になっている。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・海外情勢の影響により、輸入産業や建設業などが材料仕入れができず、売上は低下傾向にある。物価高の波が再度到来し、原価率も上昇しており、営業利益率も低下している企業が増えている。
	▲	会計事務所（職員）	取引先の様子	・原油の供給が不安定であるため、建築資材が手に入りにくくなり、工事の中断や延期を余儀なくされている建設業関係の顧問先が多い。
	▲	会計事務所（職員）	取引先の様子	・輸送機械器具製造業の客先から年内減産の話を知っている。原因は原油価格高騰での販売不振とみる。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月と比べて日商ベースで2割ほど減少している。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・石油原料に連動して、様々な商品の値上げが継続している。そのため、購入品目が減り、また、消費に使う単価も下がっている。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注価格や販売価格の動き	・安さで大阪の納品業者を選んでいた同業者は、雨の日に欠かせないフィルムが入荷未定になってしまった。大手フィルムのこん包機を扱っている業者も、ライバル企業からフィルムを調達するほど在庫がなくなっている。今後の入荷も未定で先行きが不安定である。
雇用 関連	◎	*	*	*
	○	—	—	—
(東海)	□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・物価高に加え中東情勢による資材仕入価格の高騰や入荷遅れが目立ち、先行きの不安感が増している。しかし、政府の発表によると大きな悪化にはつながっていない様子である。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ゴールデンウィーク中に祭りがあり、初日こそ天候に恵まれなかったが、集客は良かった。3か月前も景気は良かったため、そこと比較すると変わらない。

□	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・求人件数が3か月前比では減少しているが、前年比では横ばいである。
□	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・一部の大手企業を除き、引き続き物価上昇に賃金上昇が追い付いていない。
□	アウトソーシング企業 (エリア担当)	周辺企業の様子	・景気動向は全体として回復基調であるが、企業間格差が拡大している。材料費や電気代、人件費高騰により、売上は回復しても利益が出にくい状況となっている。特に人手不足が深刻で、省人化やDX投資への関心が高まっている。
□	新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	求人数の動き	・大卒の新卒採用が難しくなった分、転職や高卒採用などに切り替える企業もみられる。全体としては人手不足は変わっていない印象を受ける。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は3月に一時的に持ち直しているものの、全体的に減少傾向が緩やかに続いている。医療福祉など構造的な人手不足は景気に左右されず、高止まりではあるが、対面サービス業では若干の回復傾向がみられる。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比較して、全体で8.3%増加した。産業別では、情報通信業や宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業の新規求人数が増加し、建設業、卸売・小売業の新規求人数は微減となった。
□	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・景気は上向き傾向に見えるが、中東情勢による物資の不足や物価の更なる上昇が、先行き不安を呼び景気の上昇を抑えているようにみられる。
□	民間職業紹介機関 (営業担当)	採用者数の動き	・採用する企業側が厳選採用の目線に切り替わり難度が高まっている状況である。一方で今期の採用案件が大量に発生しているため需給バランスがある職種から採用決定が生み出されている。
▲	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・各完成車メーカーの次世代電気自動車開発がストップしている。完成車メーカーに限らず、自動車部品メーカーでも今月時点で業務終了とはなっていないが、今後の対応業務の見通しが不透明になっており、来月以降で業務終了が発生する可能性がある。
▲	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・中東情勢の影響により化学製品の入手が困難となり、事業に影響が出てきている企業がやや増えている。
▲	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・中東情勢の影響によりナフサの仕入状況が芳しくない点において、営業が苦しいという声が上がっている。
▲	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・小規模の病院の閉院が複数発生しており、物価高などの影響により事業継続を断念する企業が多方面に広がっている。
×	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・中東情勢の影響から募集を見合わせる企業が出始めるなか、求職者数も先行きに不安を感じ転職活動を控えている様子である。